

生き物を育てることは

荒れを防ぐ唯一の方法

笠松小学校の子どもたちの中には、雨が降っている日に登校しても、自分で育てている花のところへ駆け寄っていき子がいます。近づいて「何をしていますの?」と尋ねると、「お花に声掛けをしているの」と答えてくれました。

「どんな声掛けをしたの?」とさらに聞いてみると、「早く大きくなって、きれいな花になってね」と言っていたよ。」と、笑顔で話してくれました。受け持ちの先生にこのことを話したところ、「子どもたちは帰りに、『花さんさよなら、またあしたね、バイバイ』と言って帰って行くんですよ。」と教えてくれました。そ

ういえば、二十年近くも笠松小で菊作りを指導して下さっている伏屋さんも「菊は足音で育つ。」と六年生に常々話してくださっています。



全校一人一鉢活動の花



一年生から六年生まで、毎年一人一鉢の花を育てることで、子どもたちは生き物の世話がどんなに手間の掛かることかということや、手間を掛ければ掛けただけ生き物は応えてくれることなどを学んでいます。荒れた学校を見事に立て直した先生に秘訣を聞いたところ、「生き物を育てることがすさんだ心をやさしい心に変える唯一の方法ですよ。」と言われました。

笠松小学校では全学年で植物

を育てていますが、その他に、

三年生では「昆虫の館」を利用してチョウチョやカブトムシなどの飼育に挑戦しています。四年生では、中庭を利用してウサギやアイガモ、カメを飼育しています。

ウサギを育てていると、常識が覆されます。例えば、ウサギは水がかかると死んでしまうと知られていますが、雨に降られても大丈夫なのです。そればかりか、ウサギは頻繁に水を飲むのです。こういった事実も生き物を長く飼育続けることによっても始めて発見することができ



4年生のうさぎの飼育

子どもにも思いやりの心を育てるために、ご家庭でも動物を飼ったり、植物を育てたりされてはどうでしょうか。

笠松小学校

校長 加藤 卓

スポーツ レクリエーション

SPORTS&RECREATION

町民テニス大会

5月14日(日)

緑地公園内テニスコート(敬称略)

▶一般男子の部

優勝 杉山陽介・稗田 誠組

準優勝 尾関正臣・梶木誠一組

3位 松枝つとむ・山田和人組

平松 篤・松久僚介組

▶一般女子の部

優勝 池場久佐子・大野由香里組

準優勝 鮎田淳子・間宮啓子組

3位 岩田知春・鈴木恵子組

木部 菜・園部紘子組

▶初級男子の部

優勝 森 大樹・吉田博基組

準優勝 高松良輔・松原康洋組

3位 辻 憲一・日比野将人組

▶初級女子の部

優勝 堀江真美・堀江美南組

準優勝 木部 静・水野真衣組

3位 佐藤歌織・堀江智恵組

伊藤夕美加・松橋雫子組

▶45歳以上男子の部

優勝 岩田弘毅・後藤英健組

準優勝 近藤正典・山田章裕組

3位 辻 英治・中村時雄組

高橋邦彦・平松隆一組

▶混合ダブルスの部

優勝 清水久嗣・伊藤文恵組

準優勝 中島勝己・中島英子組

3位 榊林昭彦・榊林 緑組

町老連

余技作品展開催

笠松町老人クラブ連合会主催の、「老人余技作品展」が5月30日から6月1日の3日間にわたり、福祉会館で開催されました。

会場には、約220点余りの日本画・水彩画・油絵・写真・盆栽・ちぎり絵・手芸などが展示され、訪れたかたの目を楽しませました。

